

3.平成元年度-5年度(1989-1993)

トピックス

美容・健康に関する「苦情」「問い合わせ」が継続して多く見られ、全体的に相談件数は増加傾向にありました。

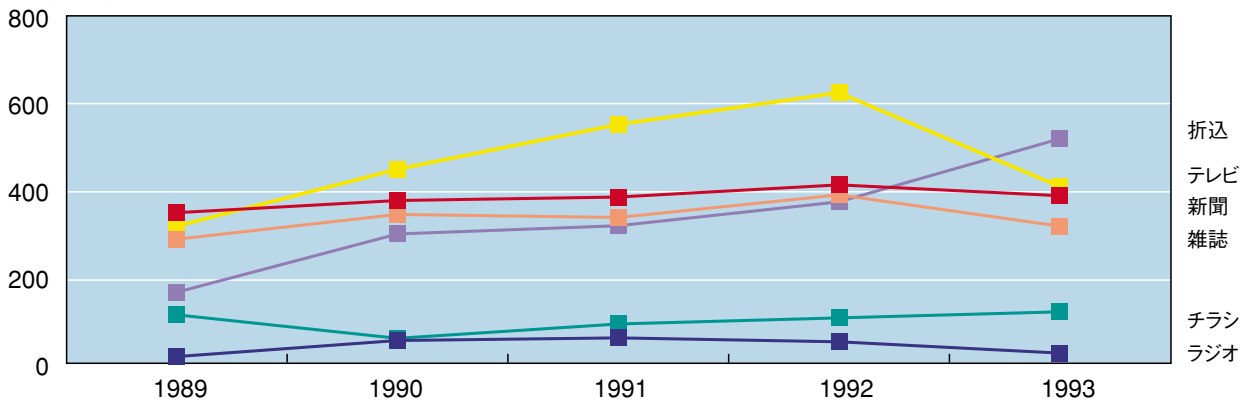
また、バブル崩壊による雇用状況の変化などによって、人事募集に関する広告・表示に対する問い合わせが多く見られました。内容は職種、仕事内容、待遇などに関しての曖昧な表示や広告と実態との違いに対する疑問点を指摘するケースなどです。

特徴的なものとして、外国語教室や進学塾などで、減少しつつある受講生獲得の過当競争から過大なあるいは誤認の恐れがある評価実績を表示した問題広告が多く見られる傾向にありました。根拠のない最高・最大級表現や合格実績などを実際以上に多数掲載した広告への苦情です。いずれも不当表示に当たるため、その改善を強く要望しました。

問い合わせに多く見られる広告関連の照会は広告主、媒体社、広告会社など広告の送り手からのものが多く、制作・掲載・放送などに当たっての事前相談でした。不適正広告防止の責任意識の高まりが見られました。

この5年の問い合わせの動き

<媒体別> (件数)



<業種別> (件数)

